

- 問1 1221年に起こった戦乱において、後鳥羽上皇が率いる朝廷軍を破った鎌倉幕府が、その後の戦後処理として、朝廷の監視や西国の武士の統制を目的に京都に設置した役職は何ですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 執権 3. 問注所 4. 京都守護
- 問2 1232年(貞永元年)、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時が、御家人たちの間で増えていた土地の争いなどを公平に裁く基準を示すために制定した、日本で最初の武家独自の法律を何といいますか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 大宝律令 4. 憲法十七条
- 問3 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で地頭と荘園領主との間の紛争が急増しました。これに対し、3代執権の北条泰時が、御家人同士や地頭と領主の争いを公平に裁くための基準として1232年に制定した、武士独自の法を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 建武式目 3. 御成敗式目(貞永式目) 4. 公事方御定書
- 問4 紀伊国の阿氏河荘(あてがわのしょう)という荘園では、地頭が農民を不当に働かせたり、年貢を横領したりといった横暴を働いていました。これに苦しんだ農民たちは、自分たちの窮状を訴える文書を「土地の本来の持ち主」へ送りました。この訴えの宛先となった、当時の土地支配の中心的な勢力として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 管領や大老 2. 将軍や執権 3. 貴族や寺社 4. 守護や地頭
- 問5 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハーンが、都を大都(現在の北京)に移した際に定めた中国風の国号を次の中から選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 元 2. 高麗 3. 明 4. 清
- 問6 鎌倉時代後半に元(モンゴル帝国)が二度にわたって日本へ侵攻した元寇のうち、1274年の文永の役から数えて二度目にあたる1281年の大規模な襲来を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 文永の役 3. 弘安の役 4. 慶長の役
- 問7 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が代々就任し、将軍に代わって幕府の政治を統括し実権を握った役職を何といいますか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 管領 2. 老中 3. 執権 4. 地頭
- 問8 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、御成敗式目を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 徳政令を発布して、生活に困窮した御家人の借金を帳消しにし、幕府への忠誠心を取り戻すため 2. 律令に基づいた裁判を行う朝廷の権威を否定し、すべての日本人に幕府の法を適用するため 3. 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため 4. 元(モンゴル帝国)の来航に備え、全国の武士を統制して沿岸部の警備を強化するため
- 問9 鎌倉時代初期の武士社会において、親の領地を複数の子に分けて継承させる相続方法を何といいますか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 単独相続 2. 地頭請 3. 永代売買 4. 分割相続
- 問10 鎌倉時代末期に一遍(いっぺん)によって開かれ、太鼓や鐘をたたきながら念仏を唱えて踊る「踊念仏(おどりねんぶつ)」を通じて、農民などの民衆の間に急速に広まった宗派を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 浄土真宗 2. 日蓮宗 3. 浄土宗 4. 時宗
- 問11 中世から近世にかけての武家政権の変遷について述べた文として、歴史的な事実関係が正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、承久の乱を経て幕府の権力は西国へ拡大し、のちに豊臣秀吉が北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げた。 2. 東大寺の再建を通じて武士の勢力交代が進む中、地頭の設置よりも先に豊臣秀吉による太閤検地が行われ、幕府の支配権が確立した。 3. 承久の乱によって鎌倉幕府が滅亡した結果、戦国時代の混乱が始まり、その終焉とともに源頼朝が守護・地頭の設置を認めさせた。 4. 豊臣秀吉が全国を統一して地頭の権限を全国に広めた後、それに反発した後鳥羽上皇が承久の乱を引き起こした。
- 問12 1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目」を制定した背景として、最も正しい説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 源頼朝の死後、源氏の血筋が途絶えたことで、将軍に代わる新しい統治者を決める必要があったため 2. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため 3. 幕府の拠点を鎌倉から京都へ移し、朝廷の政治文化を積極的に取り入れるため 4. 天皇を中心とした律令制度を復活させ、公家と武士が共同で政治を行う仕組みを整えるため
- 問13 日本の歴史を、(1)飛鳥時代、(2)平安時代、(3)鎌倉時代、(4)室町時代と分けたとき、(3)の時期に再建された東大寺南大門やその内部に安置された彫刻に見られる文化的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 重源らによって再建され、力強い筋肉表現をもつ金剛力士像に見られるような写実的な作風。 2. 足利義満が北山文化の時期に建立した、公家文化と武家文化が融合した金箔の装飾。 3. 藤原氏が極楽浄土を夢見て造営した、華やかで優美な貴族文化を象徴する様式。 4. 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築として大陸の影響を色濃く残す様式。
- 問14 鎌倉時代に制定された御成敗式目(貞永式目)の背景とその特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。 2. 守護の権限を大幅に拡大し、全国の荘園の年貢をすべて徴収できるようにするために作られた。 3. 朝廷の律令をそのまま武士に適用させ、貴族社会と同じ基準で裁判を行うために作られた。 4. 徳川家康が豊臣氏を滅ぼしたあと、全国の大名を統制する目的で作られた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 六波羅探題	承久の乱に勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流すと同時に、これまで幕府の影響力が弱かった朝廷や西国を監視する必要性に迫られました。そこで、京都の六波羅に拠点を置く「六波羅探題」という役職を新設し、朝廷に対する支配力を強めました。
問2	答え 1 御成敗式目	承久の乱の後、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、領地をめぐる訴訟が急増しました。これに対し、北条泰時は武士の社会でそれまで慣習として行われてきた「道理」や「先例」を明文化し、公平な裁判の基準を定めました。制定された当時の年号から「貞永式目」とも呼ばれます。
問3	答え 3 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西日本の朝廷側の領地に地頭を任命するなど、その支配力を全国へと広げました。しかし、地頭の勢力拡大にともない、土地の境界や年貢の納入をめぐるトラブルが多発したため、北条泰時は武士の慣習や「道理」を基準とした公平な裁判を行うためにこの法を定めました。これは武士による最初の体系的な法律です。
問4	答え 3 貴族や寺社	鎌倉時代の地方の土地（荘園）は、法的には京都の貴族や大きな寺社が「荘園領主」として所有していました。幕府から派遣された武士である地頭が農民に対して不当な要求を行った際、農民たちは「本来の主人」である荘園領主に助けを求めるため、訴状を送って抗議しました。阿氏河荘の百姓訴状はその代表的な事例です。
問5	答え 1 元	チンギス・ハンによって築かれたモンゴル帝国は、第5代皇帝のフビライ・ハンの時代に、中国風の「元」という国号を採用しました。フビライは日本に対しても服従を求め、二度にわたる元寇（文永の役・弘安の役）を引き起こしました。
問6	答え 3 弘安の役	元（モンゴル帝国）の皇帝フビライ・ハンは、日本を服属させるために二度の遠征を行いました。一度目の1274年は「文永の役」と呼ばれ、二度目の1281年は「弘安の役」と呼ばれます。文永の役あとの鎌倉幕府が九州沿岸に防塁を築いて警戒を強めていたなか、元軍は再び大規模な軍勢で日本を襲撃しました。選択肢にある慶長の役は安土桃山時代の朝鮮出兵、承久の乱は鎌倉時代初期に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして起こした戦いです。
問7	答え 3 執権	源頼朝の死後、妻の北条政子の実家である北条氏が台頭しました。北条氏は將軍の補佐役であった「執権」の職を世襲し、政治の実権を握る「執権政治」を確立しました。管領は室町時代、老中は江戸時代の役職であるため混同に注意が必要です。
問8	答え 3 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため	北条泰時は、幕府の力が強まる中で御家人たちの権利関係を明確にし、身分に関わらず公正な裁判が行われる仕組みを整える必要がありました。それまで成文化されていなかった武士の道徳や慣習を法としてまとめることで、御家人の信頼を得て幕府の安定を図る目的がありました。なお、この法は当初、幕府の勢力圏内（御家人や幕府領）にのみ適用されるものでした。
問9	答え 4 分割相続	鎌倉時代初期の武士（御家人）の間では、親の領地を複数の子に分けて譲り渡す方法が一般的でした。この制度では、男子だけでなく女子にも領地を分け与える権利が認められていました。しかし、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されて減少していくため、のちに御家人の生活が困窮する一因となりました。
問10	答え 4 時宗	一遍は、阿弥陀仏の名を唱えれば誰でも救われると説き、特定の寺院を持たずに全国を巡り歩く「遊行（ゆぎょう）」を行いました。踊念仏は、信仰の喜びを体全体で表現する布教スタイルとして、当時の庶民の心をつかみました。一遍が描かれた絵巻物などにも、多くの人々が輪になって踊る様子が記録されています。
問11	答え 1 源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、承久の乱を経て幕府の権力は西国へ拡大し、のちに豊臣秀吉が北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げた。	日本の武家政権は、12世紀末に源頼朝が鎌倉幕府を開いたことに始まります。1221年の承久の乱は幕府の支配力が全国化する重要な転換点となりました。その後、室町幕府や戦国時代を経て、16世紀末に豊臣秀吉が小田原の北条氏を滅ぼすことで天下統一を達成しました。承久の乱は豊臣秀吉の時代よりも約360年以上前の出来事であり、時代順序を正確に把握することが重要です。
問12	答え 2 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため	承久の乱の結果、幕府は西日本にも多くの地頭を任命しましたが、これにより各地で土地の支配権をめぐるトラブルが急増しました。北条泰時は、御家人たちに公平な裁判の基準を示すことで、これらの混乱を鎮め、北条氏による執権政治の基盤を安定させようと考えました。
問13	答え 1 重源らによって再建され、力強い筋肉表現をもつ金剛力士像に見られるような写実的な作風。	鎌倉時代の文化は、それまでの平安時代の貴族文化（国風文化）の優雅さとは対照的に、台頭してきた武士の気風を反映して「力強く写実的」であることが大きな特徴です。東大寺南大門の再建を指揮した重源や、彫刻を担当した運慶・快慶らの活動は、まさにこの時代を象徴しています。他の選択肢は、飛鳥、平安、室町の各時代における代表的な建築物の特徴を述べたものです。
問14	答え 1 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。	承久の乱によって幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で武士と荘園領主、あるいは武士同士の土地トラブルが急増しました。北条泰時は、武士に馴染みの薄い朝廷の律令ではなく、武士独自の慣習を明文化することで、誰もが納得できる公平な裁判を行おうとしました。これがのちの武家法の規範となりました。